

- 学校教育法 30 条の 2 等の関係法規
- 東京都の教育目標
- 練馬区の教育目標

**大泉中学校 教育目標**

健康 ~ 心豊かで健康をめざす人  
 誠実 ~ 自分も他人も大切にする人  
 努力 ~ 進んで学習に励む人

- 学校、地域の実態
- 地域の期待や願い
- 保護者の期待や願い

「各教科」指導の重点

- ①年間指導計画および評価計画に基づき、適正な評価・評定の実施を行うとともに、生徒・保護者との共有を図る。
- ②主体的・対話的で深い学びを通して、思考・判断・表現する力を向上させるアクティブ・ラーニング型授業を最大限推進し、実行する。
- ③ICT機器の活用を通して、教材提示、生徒の意見などの共有を工夫し、「わかる授業」を展開する。
- ④全教員が校内研究授業や教科部会等を通して、大泉中授業スタンダードを活用した授業づくりと実践を行い、授業検討の機会をつくり改善を図る。

「総合的な学習の時間」指導の重点

- ①キャリア教育の中心として位置付け、生徒個人のキャリア・パスポートを活用した取組の充実を図る。
- ②職業に関する学習、上級学校訪問などを通して進路選択ができる力の育成を図る。
- ③課題発掘や問題解決力、学び方やものの考え方、プレゼンテーション力を身に付けさせる学習活動の充実を図る。

「進路指導」指導の重点

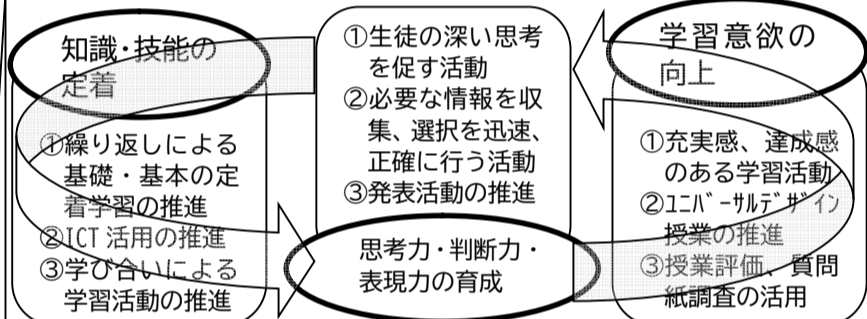
- ①生徒が自己理解を深め、生き方を考え、適切な進路選択ができる力を身に付けられるよう、資料の収集・整備を行い、ガイダンス機能を充実させる。
- ②PTAや卒業生、地元企業を中心とした地域の教育力と連携し、望ましい勤労観、職業観を身に付けさせる。
- ③上級学校訪問等を通して、自分自身で進路選択するための情報収集およびその情報を活用する力を養う。

大泉中学校 学校経営方針

人は学ぶ ~ 学びの中心は授業である  
 人は変わる ~ 達成感のある行事  
 人は輝く ~ 委員会・部活動の充実

- ①2分前着席、朝読書等による基本的な生活習慣・学習習慣の形成
- ②夏季学習教室、学習コンテストの実施等による基礎的・基本的な内容の定着
- ③「わかる喜び」「できる喜び」を実感できる学習活動の推進
- ④主体的・対話的で深い学びを導くアクティブ・ラーニングの実施やICT機器の活用を通じた授業改善の実施
- ⑤学力向上支援講師を活用した個に応じた指導の充実
- ⑥9年間の学びの連続性を生かした小中連携の推進

大泉中学校における「確かな学力」  
自立した学習者をめざす資質・能力の育成  
~主体的・対話的で深い学びの実現を通して~



大泉中授業スタンダード

~ICTを活用したユニバーサルデザイン授業の展開をめざして~

- ①導入「課題設定」~課題やゴールを可視化する~  
・学習内容の意義を教師と生徒が共有し、課題を明確にする。
- ②展開「学びの姿」~授業の展開を示す~  
・一人一人の学びの姿をみとる。  
・他者や先哲との学び合いの姿をみとる。  
・教材提示と設問の工夫から生徒の考えや意見をみとる。
- ③終末「振り返り」~振り返り活動の明確化~  
・自分の成長や変容、友達の良さや集団で学ぶ良さに気付かせる。  
・充実感、達成感などの学びの手応えをつかませる。  
・学びの連続性をもたせ、PDCAサイクルを学習習慣にさせる。

「道徳教育」指導の重点

- ①年間指導計画に基づいた年 35 時間以上の道徳教育の実践を堅持する。
- ②年間指導計画作成段階から、行事との内容の関連付け、ローテーション授業の内容および評価の検討を行う。その上で、生徒の実態を捉えた本時の内容と方法の検討を行い、効果的な道徳の授業を展開する。
- ③東京都教育委員会、練馬区教育委員会と道徳授業地区公開講座を共催し、家庭や地域との連携を図る。

「特別活動」指導の重点

- ①望ましい集団生活の形成を図るよう学級活動を計画し実施する。
- ②集団や社会の一員としての自覚をもたせるため、日々の美化活動や職場体験活動等に取り組みさせる。
- ③体育的行事や文化的行事を3年生中心の実行委員会方式で運営し、自治的な活動を促し、よりよい学校生活を築こうとする態度を育むとともに、心豊かな人間関係を築こうとする実践的な態度を育てる。

「生活指導」指導の重点

- ①基本的生活習慣の定着、規範意識の向上、自主自律の精神の育成を通じた集団生活の向上に努め、安全で落ち着いた学習環境づくりを目指す。
- ②挨拶の励行等、豊かな人間関係の構築に努め、教え合い、学び合う学習環境の活性化、ならびに学習に意欲的かつ真摯に取り組む生徒の育成を目指す。
- ③特別な支援を要する生徒に対して、個別の指導計画を基に一貫した指導を行うとともに通級指導教室との連携を踏まえた合理的配慮を実践する。また、不登校およびその傾向にある生徒に対する個別の学習指導等による登校復帰への支援、ならびに

大泉中学校授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法	教育課程の編成	校内研究や研修	評価活動	家庭や地域との連携	小中一貫教育
<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業改善のために、定期考査の結果や生徒の授業評価を分析し、各教科・学年で指導内容と方法の見直しを通じた実践の充実を図る。</li> <li>○教育ICT機器配備モデル校として培ってきたノウハウをもとに、ICTを積極的に活用し、生徒が参加したい、学び合いたいという「できる喜び」のある授業を推進、実施する。</li> <li>○ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの充実を意識し、思考・判断・表現をする力の向上を促す授業展開を工夫する。</li> <li>○習熟度別少人数授業、学力向上支援講師(数学)等を活用し、細やかな指導を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○週単位で時間割を作成し、授業時数・進度の適切な管理を行う。</li> <li>○教科学習の充実を図るとともに、生徒会活動や学校行事を通じたバランスのとれた教育活動を行う。</li> <li>○放課後や夏季休業期間等を活用して学習教室を行い、基礎学力の向上を図る。</li> <li>○図書ボランティアおよび学校図書館管理員との連携を図り、図書室を有効に活用して、読書活動を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全教職員が、ICT活用による授業改善を目的とした校内研究授業を行う。</li> <li>○校内研修の重点4項目を定め、計画的に実施する。 ・授業力向上 ・小中一貫教育 ・ICT機器の推進 ・特別支援教育</li> <li>○練馬区主催の研修等で得られた授業改善に関する情報を共有していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導と評価の一体化を図るため、各教科で作成した評価規準・評価計画に基づいた評価を実施する。</li> <li>○保護者会等で、新学習指導要領実施に伴い、評価規準や評価方法を説明し、保護者の理解を深める努力を行う。</li> <li>○生徒授業評価を行い、授業内容や方法について見直し、改善に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校公開、道徳授業地区公開講座を実施して開かれた学校づくりを推進していく。</li> <li>○学校だより、ホームページの内容を工夫し、情報共有の機能を充実させる。</li> <li>○地域で活躍する方、活躍してきた方と連携を図り、可能な範囲内で講演会や特別授業等を企画・実施し、学校全体の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校区別協議会において、具体的な授業をもとにした協議会を行い、各校種での授業内容や方法に関する相互理解を深める。</li> <li>○小中連携事業を推進し、課題改善カリキュラムの作成・実践を通じた小学校との学びの交流および連続性を図る。</li> </ul>

授業改善策の検証方法

日々の授業観察および提出課題・定期考査等の結果、生徒授業評価等を基に、教科部会、校内研修で改善策を検討し、実践を通して検証する。

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p><b>【知識・技能について】</b> 学力に課題のある生徒に対する漢字や文法等の知識の定着に課題があった。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> 文学的文章や古典の読解において、副教材の解答や他者の意見に頼り、自ら考える姿勢が十分でない生徒が見られる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 生徒の学習状況をもとに評価する機会を多く設けているので、学力に課題があり、自分で学習に取り組めない生徒の主体性を引き出すことが求められる。</p>	<p><b>【知識・技能について】</b> 反復練習の機会をさらに設けるとともに、小学校の範囲の復習を並行して行う。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> 文学的文章や古典の読解において、多様な意見が出る課題を設定し、意見を伝え合う協働的な学習の機会を増やす。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 個に応じた多様な難易度の課題を与えること、また机間指導の際により綿密な学習支援を行うことによって、生徒が自分の力で意欲的に課題に取り組む環境を整える。</p>	<p>○こまめに漢字の小テストや書き取りの時間を設けることで、漢字の知識の定着を図っている。</p> <p>○多様な課題を設定し個々の達成度に応じた学習を進め、思考力および意欲の適切な伸長に努めている。</p>
社会	<p><b>課題1</b> 話し合い活動を前提とした社会的な見方・考え方の習得や活用場面といった活動がコロナ禍で制限されているため、自分の考えを素早くまとめ、分かりやすく伝える資質を高める必要がある。</p> <p><b>課題2</b> 社会的事象を空間的な広がりや時間的な変化や相互の関連性に着目して表現すること、時代の特徴を概観して表現する力に課題がある。</p>	<p><b>改善策1-1</b> 各授業において資料をもとに社会的事象を適切かつ素早く読み取り、活用して課題を解決する場面を確保していく。</p> <p><b>改善策1-2</b> 作成物を相互評価するなど、表現されたものを多面的・多角的に捉える活動を増やす工夫を行う。タブレットを活用し、ジャムボードや共同編集作業などを実施して、意見を交換する場面を確保する。</p> <p><b>改善策2-1</b> 思考・判断・表現の指導計画の見直しや具体的な評価のポイントを生徒と共有する仕方を工夫するなど、生徒の学習定着度に応じて、こまかな修正をかけながら指導にあたっていく。地理・歴史・公民の各分野で習得した知識及び技能を活用して、社会的事象について多面的・多角的に考察する場面を多く計画する。</p> <p><b>改善策2-2</b> 振り返りワークシートの記載内容に対して、形成的な評価を内容のまとめりごとに行っていく。</p>	<p><b>改善状況1</b> ○内容理解を進めるための専門的な用語を覚えようとする意欲はあり、定期考査等の結果にも表れている。</p> <p><b>改善状況2</b> ○推移や変化といった見方・考え方を働かせて、資料を読み取ることができるようになっている。表現力については、形成的評価を続けることで、力を伸ばすことができるように指導を継続する。</p>
数学	<p>基礎基本の徹底を図る指導を行う。</p> <p>定期考査の結果を見ると、計算することはできるが、文章問題においての式を作る力が十分でない。</p> <p>授業態度は良いが、授業に受け身になっている生徒が多い。</p> <p>解けない問題を人に聞いたり、解答を写したりして解決した気持ちになっている生徒が多い。</p> <p>文章が長いと読まずに「分からない」と発言する生徒がいる。</p>	<p>基礎的な問題を繰り返して演習する機会を作る。</p> <p>既習事項の確認や定着を図るために、学びに向かうプリント、ワークなどの課題を与えて繰り返し練習を行う。</p> <p>授業に対して受け身になっている生徒に声掛けや支援を多く行い、自分の力で解くことができる自信をつけさせる。学力向上支援講師と連携をとり、声掛けや支援の回数を増やす。</p> <p>文章問題では問題文の読み取りが不十分な生徒が多いので、苦手な生徒には一緒に読み取る時間をつくり、得意な生徒には自分でしっかりと読む時間を与え、読み取る力をつけさせる。</p>	<p>○2、3年生は習熟度別で行うことで、生徒に合った授業進度で行えているので、受け身の生徒も発言がしやすくなっている。繰り返し練習を行ったことで昨年度よりテストの結果が向上した。</p>

理科	<p>理科に興味・関心をもつ生徒は多いが、自然の事象・現象についての基礎的な概念や原理・法則を理解し、それを基に思考・判断を行い、科学的な視点で自然の事象・現象を捉える経験が不足している。また、科学的な視点で捉え、自らの考えを表現する力が不十分であり、表現力の育成を含めて指導の工夫が必要である。</p>	<p>観察・実験に日常生活に関する身近な学習材を取り入れ、体験的な学習を中心とした指導を行う。また、その体験から導き出される結果を表やグラフ等を用いてレポートにまとめ、思考・判断を行い、小グループ内での発表の機会を設定するなど、自然の事象・現象を科学的に捉え、思考・判断し、表現する力の育成を図る。</p>	<p>○制約のある観察・実験では、演示や動画等を活用し、また思考実験などを取り入れた指導の工夫を続けている。</p>
音楽	<p>コロナ禍で、声を出すことができない期間が長かったため、声を出して歌うことに慣れていない。</p> <p>音楽記号や音符など楽譜を読む能力が定着していない。</p>	<p>毎時間授業時に発声練習を取り入れ、正しい声の出し方を覚えさせていく。生徒の興味・関心を引き出す曲を選定して主体的に歌うことができるようにする。</p> <p>記号の確認プリント、授業時にフラッシュカードを使い、反復して記号を覚えさせる。写譜の課題を取り入れ、実際に書くことで覚えていく。</p>	<p>○声を出すことに抵抗を感じることなく意欲的に歌うことができている。</p> <p>○記号を覚えることで楽譜を読むことができると感じている生徒が増えている。</p>
美術	<p>〔知識・技能〕 美術作品に多くの生徒が触れる経験が乏しい。 新しく学ぶ技法を忠実に学ぼうとする。</p> <p>〔思考力・判断力・表現力〕 工夫する意欲が低い。 自分の作品制作における判断や決定を人に委ねる傾向が見られる。 表現するための題材を蓄えていない。</p> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕 落ち着いて授業に取り組める。しかし、失敗を恐れ、全力で創造活動に没頭できない生徒が多い。</p>	<p>〔知識・技能〕 様々な芸術作品を廊下、教室に貼っている。授業内もなるべく多くの芸術作品を様々な手法で鑑賞させる。耳を傾け、尊重する。</p> <p>〔思考力・判断力・表現力〕 問題解決的な美術課題を教材にする。 生徒一人一人が自信をもって制作できるよう声かけし、耳を傾け、尊重する。</p> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕 なるべく高い意欲をもって取り組めるよう、生徒たちが興味をもちやすい教材を選ぶ。書画カメラを使い、生徒同士の作品を鑑賞させ、仲間たちから刺激をもらい、制作意欲が高まる工夫をする。</p>	<p>○掲示された作品に興味を引くようになってきている。</p> <p>○自分で考え工夫しようとする姿が見られるようになってきている。</p> <p>○生徒同士の作品鑑賞では興味をもつようになってきた。</p>
保健体育	<p>本校では男女ともに「全身持久力」の値が低い傾向にある。コロナ禍で継続して運動を行う機会が減少したこともあるが、「全身持久力」は生活を維持していくために不可欠な力であるため改善が必要である。</p> <p>新体力テストの結果では区や都、全国の平均を下回っている種目も多く、基礎体力を向上させていく必要がある。</p> <p>運動経験の二極化が見られる。体の使い方がわからなく苦手意識を多くもっている生徒が見受けられる。</p>	<p>運動量を確保する。活動に制限がある中で工夫をし、継続して運動を行う時間および全体の運動時間を多くとるようにする。</p> <p>基礎体力の向上を目指す。腹筋や背筋などの筋力や柔軟性など導入や展開の時間の中で取り入れていく。</p> <p>体づくり運動を積極的に取り入れる。体の動かし方を知ることや上手くできないことを継続して行うことで、できなかったことができるようになる達成感をもたせる。</p>	<p>○多くの生徒は主体的に活動をしている。制約のある中、運動量を確保し、課題解決できる授業を工夫する。</p>

技術家庭	<p>既習事項や生活の中の課題を見つけることはできるが、それを解決するための力に繋げることが課題である。</p> <p>適切に課題解決学習を行うために、課題を設定できる生徒と、できない生徒が二極化している様子が見られる。</p>	<p>小学校図画工作科および家庭科からの既習事項の理解度を把握し、どのような力が求められるか、より具体的に例示していく。</p> <p>スモールステップによる課題を通して思考力・判断力を高め、多くの生徒が自ら課題を設定し、取り組める環境を整える。</p>	<p>○多くの生徒は主体的に活動をしている。今後、自らで課題を設定し、取り組める環境を整える。</p>
外国語	<p>上手に音読やリテリングできる生徒が以前より増えているが、即興的なやりとりや発表をする力を伸ばす必要がある。</p> <p>生徒用タブレットやデジタル教科書等のハード面は揃っているが、家庭学習等で上手に活用していない。また、家庭学習の時間が足りず、自発的な学習をしようとする生徒が少ない。</p>	<p>音読の練習を十分にとった上で、段階的にリテリングの練習を重ねていく。</p> <p>帯活動やALTとの授業で会話練習を行うとともに、良い表現や間違いやすい表現などを全体で共有し、即興的なやりとりや発表につなげていく。</p> <p>授業の中でデジタル教科書を使用する場面とタブレットを活用する場面を計画的に工夫して取り入れていく。また、家庭学習でデジタル教科書を使用するような課題設定と次の授業での取組に繋がるような一連の流れを作って少しずつ進めていく。</p> <p>授業中の活動や学習の中で、繰り返し語彙に触れ、既習文法も活用する機会を作る。家庭で学習をする習慣付けをするための課題(音読等)を設定し、次の時間に確認をする等工夫する。</p>	<p>△音読練習等は引き続き実施し、会話練習の継続を行っている。</p> <p>△教員のデジタル教科書の活用はできている。今後は、家庭学習における生徒のデジタル教科書の使用を促すために、課題の設定を工夫する。</p>